

SMILE😊23

加古川南高等学校 23期生年次通信



1年1組

先日の「夢を語る」の授業で、年次全体の前で発表することになったので、他のクラスの人から「オムライスの人」と声をかけられたり、クラスメイトと料理の話をするようになりました。クラスでの発表や他の代表者の発表を聞いて、様々な夢を持っている23期生の皆と過ごす3年間でとても楽しみになりました。これから、体育大会や南楠祭を通して、みんなと絆を深めていきたいです。

1年1組

集団行動では、覚えることも多く、なかなか思うように練習できませんでしたが、クラス練習になると皆が声出しから一生懸命頑張る姿がよく伝わってきました。ですので、僕も声を出して、「間」にこだわって掛け声をしようと思いました。終わりには行動もそろっていました。本番では、練習以上の集団行動を披露することができました。結果は優勝ではありませんでしたが、クラスの絆が深まった、とてもいい思い出になったと思います。



1年2組



「夢を語る」では、自分の夢を見つめなおす貴重な機会となり、とても良い経験となりました。前で発表したとき、口から心臓が出そうなくらい緊張しましたが、納得のいく発表ができ、とても達成感をえました。また、他クラスの発表者が堂々と自分の夢を語る姿を見て、全身に鳥肌が立ち、感動しました。そして感動と同時に、優れた生徒が自分の年次にいる現実を知って、何事にも積極的に行動し、実力を磨こうと思いました。

1年2組

「夢を語る」やクラス対抗集団行動を終えて、たくさんのことを学びました。「夢を語る」では、夢を持つ大切さ、人前ですらすら話せるテクニックを聞きながら学びました。集団行動ではクラスの仲が深まり、思いやりを感じ、学びました。最初はなかなかそろわなかったものも、教え合っただけできるようになりました。結果は一位は取れなかったけど、良い経験になりました。



1年3組



人前に出て話すことは、とても緊張することだと改めて実感しました。243人の前に出たときは何も思いませんでしたが、発表を始めると、自分が言っていることは正しい日本語になっているのか、顔は笑顔で、暗い顔になっていないかなど、様々な不安が押し寄せてきました。そんな不安の中、発表をやり終えたとき、全員の温かい拍手のおかげで「上手くできた」という気持ちになれました。どんなことでも緊張はするが、やってみることが大切だと思います。

1年3組

僕は1年次オリエンテーションの「Y-I グランプリ」では、クラスの2名の代表には選ばれることはなかったけど、3組の中では8名の発表者に選ばれ、1クラス分だけだけど、みんなの前で話すことができ、とてもいい経験になったと思います。「S-I グランプリ」では、クラスの指揮者となり、本番はとても緊張したけれど、頑張った甲斐があり、見事1位になって、みんなのおかげで勝ててとても嬉しかったです。次からの学校行事も頑張りたいです。





1年4組

夢を語ることは私も、みんなも緊張していたと思いますが、クラスでも、年次でも温かく発表者の話を聞いていたので、私はとても話しやすく、もっと伝えたいという思いと、自信を持つことができました。そして、みんなの夢や頑張りたいことを聞くことで、職業、職業の魅力について知ることができ、私も高校生活を頑張ろうと思えた、とてもいい2時間でした。

1年4組

最初この集団行動をやると聞き、正直自分にできるかなと思いました。しかし、1年4組のみんなは、僕がミスをして優しく接してくれたり、自ら大きな声を出して盛り上げようとしてくれる友達がいる、すごく助けになりました。結果は優勝できなかったですが、すごくいい経験ができました。正直悔しさがあるので次にこのようなクラスで競い合う機会があれば4組が優勝できるようにしたいです。



1年5組

みんなの前で発表してまず、こんな内気な私でもすごく喋りやすいなと思いました。前を向いて話せばちゃんとこちらを向いて聞いてくれていて、発表した後は感想も伝えてくれてとても嬉しかったです。ほかにも、同じように発表していた人達も、堂々と話していてとてもかっこよかったです。私みたいに一方的に話すのではなく、聞き手とのコミュニケーションもとってほしいなと思いました。

1年5組

オリエンテーションを通してこれからの高校生活、個人で努力しないといけないこともたくさんあるから頑張って、いきたいと思いました。でも、ルールなど一人一人が意識していかないといけないこともたくさんあるからこの23期生のみんなできれい高校生活を送ってきたいと思いました。



1年6組

「夢を語る」というオリエンテーションにてクラス代表として夢を語らせていただきました。243名という人の前で話をするのは初めてのことで、舞台の前に出たときには人の多さに圧倒されてしまいました。そんな緊張していた中での発表でした。ですが、中学生の時、壁にぶつかってしまったときに担任の先生から頂いた「自信を持って」という言葉を思い出し、最後までやり遂げることができました。このような経験を将来の進路に活かせればと思います。



1年6組

高校生になって初めて人前に立ち、自分の夢に自信を持って話すことができました。自分の番が来るまではすごく緊張していたけど、自分の番が来ると人前で話すことがどんどん楽しくなってきて心にゆとりができ、アイスブレイクをすることもできました。今回の夢を語るで感じたのは、おもしろく簡潔であり声を張りながら話すことが大事だということです。そうすれば、聞き手はこの人のスピーチをおもしろそうだと思う、より内容を頭で理解しようとするため、集中して聞こうとするのではないかと思います。

